

# 長崎新聞

県産紙宣言。  
12  
おかげさまで 創刊120周年

発行所  
長崎新聞社  
〒852-8601  
長崎市茂里町3-1

電子号外



# 北朝鮮が核実験

## 2006年に続き 2回目

# 「成功」と国営通信

## 国連の制裁決議無視

【平壤、ソウル25日共同】北朝鮮は25日、国営朝鮮中央通信を通じ、2006年10月9日に続き2回目の地下核実験を行い、「成功」と発表した。実験場所は前回と同じ北東部とみられる



(米地質調査所による)

核実験による地震波が感知された地域

が、核爆弾の個数、規模は不明。韓国の李東官(イドングアン)大統領報道官は25日、北東部の咸鏡北道(ハムギョンプクト)吉州郡(キルジュグン)で同日午前9時54分ごろ、地震波が観測されたと発表。李明博(イミョンバク)韓国大統領は同日午後、国家安全保障会議を開く予定。追加的な核実験をしないよう求めた国連安全保障理事会の制裁決議を無視した行動で、制裁の強化・拡大により北朝鮮包囲網づくりが進むのは確

実。また、北朝鮮は今年4月5日、国際社会の反発を押し切って「人工衛星」として長距離弾道ミサイル発射に踏み切ったばかりで、朝鮮半島をめぐる緊張が一層高まるのは必至だ。北朝鮮は兵器開発に不可欠な実証データを収集、「核保有国」としての立場を既成事実化し、日米の圧力に対抗する狙いとみられる。前回は爆発規模が1キロト未満と小さく、失敗に終わったとみられている。米地質調査所(USGS)によると、地震が感知されたのは北朝鮮・清

津の南西約100キロで、地震の規模はマグニチュード(M)4.7。震源の深さは10キロ。

北朝鮮の核問題をめぐる六カ国協議は昨年12月、核計画検証をめぐり首席代表会合が決裂。北朝鮮は、国連安保理が今年4月のミサイル発射を非難する議長声明を採択したことに反発し、六カ国協議からの離脱と核開発の再開を宣言した。さらに、寧辺の実験用黒鉛減速炉から取り出した使用済み核燃料棒の再処理に着手したと表明したほか、安保理の謝罪がなければ「核再実験や大陸間弾道ミサイルの発射実験を含めた自衛的措施を講じる」と警告していた。

詳しくは  
26日付の  
長崎新聞で

購読申し込み

0120-374673

HP 龍~なが

www.nagasaki-np.co.jp